

平成 22 年 3 月 29 日

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

塩野義製薬とアンジェス MGが基本合意書を締結
—NF- κ Bデコイオリゴの共同開発の正式協議を開始—

当社は、この度、塩野義製薬株式会社との間で、NF- κ B デコイオリゴの共同開発に関する協議を正式に開始することに基本合意しましたのでお知らせいたします。

当社は NF- κ B デコイオリゴに関して、アトピー性皮膚炎適応の開発を共同で実施するパートナーを選定しておりましたが、この度グローバルに事業展開しており、かつ、優れた開発力を有する塩野義製薬と共同開発を前提とした正式な協議に入ることと致しました。このことにより、欧米を含めた迅速なグローバル開発が可能となり、NF- κ B デコイオリゴの価値を最大化する事ができると考えております。

また、協議対象には既に第 II 相試験が終了しているアトピー性皮膚炎に限らず、欧米に患者数の多い尋常性乾癬など外用剤により治療する皮膚疾患全般が含まれております。さらに、当社にて従来開発して参りました軟膏製剤に加え、NF- κ B デコイオリゴの皮膚浸透性を一層改善する新たな製剤も含まれる幅広い内容となっております。

アトピー性皮膚炎の治療ガイドラインでは、主にステロイド外用剤とタクロリムス水和物軟膏が局所治療剤として推奨されています。しかしながら、これら薬剤は皮膚刺激性あるいは局所副作用を有しているために安全性の観点から全ての医療ニーズを満たしているとは言えず、より安全性の高い薬剤が新たな治療選択肢として求められています。

NF- κ B デコイオリゴ軟膏はこれまでの臨床試験においては、中等症以上の顔面のアトピー性皮膚炎に対して治療効果が確認されました。一方、ステロイド外用剤に認められる潮紅、皮膚萎縮及び多毛等の局所副作用は認められず、さらにタクロリムス水和物軟膏で高頻度に認められる刺激症状や、両薬剤に認められるざ瘡(にきび)や皮膚感染症についても、プラセボ同様の低い発現率に限られております。したがって、その安全性は既存の治療薬より優れ、既存の外用剤とは異なった臨床的な有用性及び位置付けを有することが期待されています。

今回の合意にもとづき、当社は塩野義製薬と NF- κ B デコイオリゴの外用剤全般を共同で開発し、独占的に販売する権利を塩野義製薬に付与する為の諸条件の協議を進めてまいります。

本件による 2010 年 12 月期における業績に与える影響は現在算定中であり、明確になり次第公表させていただきます。

以上

〈ご参考〉

－ 用語の解説 －

1. NF- κ B (nuclear factor-kappa B)

NF- κ B は、サイトカインや接着因子など免疫反応に関する遺伝子の発現を調節する役割をもつ転写因子です。NF- κ B がゲノム上の結合部位に結合すると、免疫反応に関する遺伝子が過剰に発現します。このため、NF- κ B は、免疫反応が原因となるアトピー性皮膚炎、乾癬や関節リウマチへの関与が指摘されています。

2. デコイ

遺伝子は、転写因子がゲノムに結合することで発現しますが、デコイは、そのゲノム上の転写因子結合部位と同じ配列を含む二重鎖の短い核酸で、体内に投与すると転写因子がゲノムに結合することを阻害して遺伝子の働きを抑えます。

3. NF- κ B デコイオリゴ (NF- κ B decoy oligodeoxynucleotide)

NF- κ B デコイオリゴは、NF- κ B に対するデコイであり、当社では、アトピー性皮膚炎、乾癬や関節リウマチなど免疫反応を原因とする疾患の治療薬として開発しております。

4. アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎は、痒みのある湿疹を伴う皮膚炎で、悪化や改善を繰り返しながら長期間続くのが特徴です。過剰免疫によるアレルギー反応が原因と考えられており、卵や牛乳等の飲食、ダニやホコリ等の環境、及びストレスなどによっても生じる場合もあります。患者数は増加傾向にあり、現在、日本で約140万人と推定されております。